平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年１月31日

上 場 会 社 名　日本特殊陶業株式会社　　上場取引所　東・名
コ ー ド 番 号　５３３４　　ＵＲＬ　http://www.ngkntk.co.jp/
代　　表　　者　(役職名)　取締役社長　　(氏名)　尾堂　真一
問合せ先責任者　(役職名)　経理部長　　(氏名)　磯部　謙二　　(TEL)052(872)5918
四半期報告書提出予定日　平成25年２月14日　　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年３月期第３四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	196,065	△4.1	14,167	△32.0	16,117	△15.9	11,561	△19.1
24年３月期第３四半期	204,415	△0.6	20,825	△16.9	19,163	△17.9	14,290	△26.4

(注)包括利益　25年３月期第３四半期　12,565百万円(95.9%)　24年３月期第３四半期　6,415百万円(△48.3%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第３四半期	53.11	―
24年３月期第３四半期	65.65	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	331,757	243,219	72.8
24年３月期	340,295	235,613	68.8

(参考)自己資本　25年３月期第３四半期　241,610百万円　24年３月期　234,058百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	―	11.00	―	11.00	22.00
25年３月期	―	11.00	―		
25年３月期(予想)				11.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	266,200	△6.5	20,400	△16.7	20,000	△15.8	15,100	△40.8	69.37

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：有
③ 会計上の見積りの変更　：有
④ 修正再表示　：無

（注）四半期連結財規第 10 条の５に該当する変更を行っています。詳細は、四半期決算短信（添付資料）５ページの「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年３月期３Ｑ	223,544,820株	24年３月期	223,544,820株
② 期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	5,873,306株	24年３月期	5,864,626株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年３月期３Ｑ	217,675,621株	24年３月期３Ｑ	217,689,101株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は世界各地の政治経済環境の変化、為替レートの変動、他社との競争状況、その他の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）４ページの「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 4
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 5
３．四半期連結財務諸表 6
（１）四半期連結貸借対照表 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 8
四半期連結損益計算書 8
四半期連結包括利益計算書 9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 10
（４）継続企業の前提に関する注記 11
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 11
（６）セグメント情報等 11
（７）重要な後発事象 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

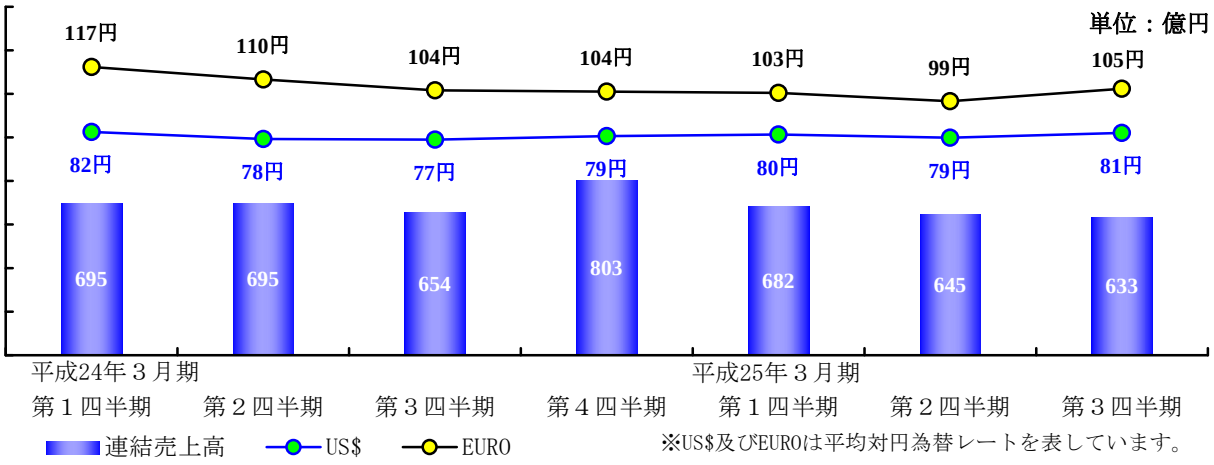
（１）連結経営成績に関する定性的情報

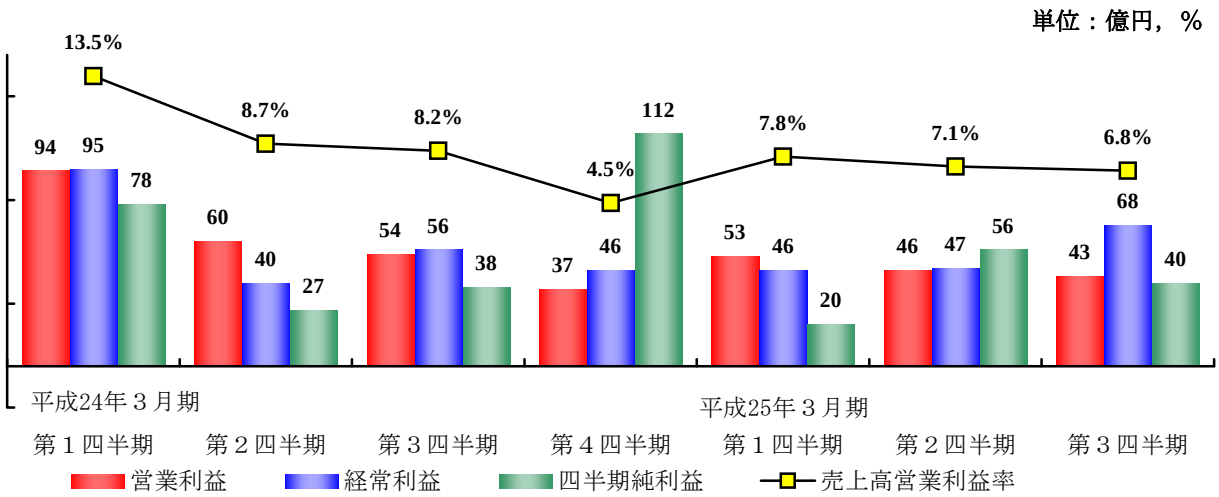
当第３四半期における世界経済は、中国では輸出停滞による景気減速が続き、また急速に成長する中で経済格差の拡大が深刻化していますが、政権交代が決まり、公共投資の拡大を中心とした経済政策で景気持ち直しを目指しつつある状況です。また米国では大統領選挙が行われ新体制が固まり、財政の崖という急激な財政緊縮を一時的に回避しましたが、今後は財政赤字削減策と連邦債務上限引き上げ問題への対処が注目されます。欧州においては南欧の重債務国を中心に緊縮財政による景気悪化が長期化しています。わが国経済におきましては金融緩和に積極的な政党への政権交代の期待から為替市場は円安が進行し株式市場も株価が急騰し、デフレからの脱却、経済の立て直しが期待されます。

当社グループが主要な事業基盤とする自動車業界は、新車販売において欧州では落ち込みが続いていますが、中国では日系自動車メーカーに落ち込みが見られたものの、回復の兆しもみえ始め、市場全体的に販売が伸びています。また米国では緩やかな景気回復や中古車の買い替え需要を背景に堅調に推移しています。一方、わが国におきましてはエコカー補助金制度の終了による反動減が出始め、今後の販売動向が注目されつつある状況です。

情報通信関連事業及びセラミック関連事業における半導体業界は、世界的にパソコン需要が低迷している中、スマートフォンやタブレット端末の販売が好調に推移しており、これらの端末の多機能化、マルチバンド化と共に、使用する電子部品の小型化、軽量化及び低価格化の競争が続いています。

このような状況のもと、当社グループの当第３四半期連結累計期間の連結売上高は 1,960 億 65 百万円（前年同期比 4.1%減）、営業利益 141 億 67 百万円（前年同期比 32.0%減）、経常利益 161 億 17 百万円（前年同期比 15.9%減）となり、四半期純利益は 115 億 61 百万円（前年同期比 19.1%減）となりました。

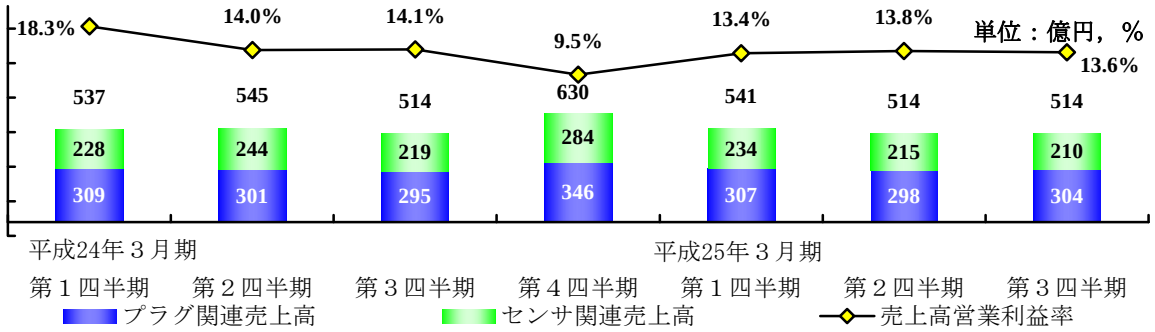




〈自動車関連〉

当事業は、欧州での新車販売不振や中国での日系自動車メーカーの販売落ち込みが見られましたが、北米では堅調に推移し、また為替相場も円安へ向かい、売上高に追い風となりました。

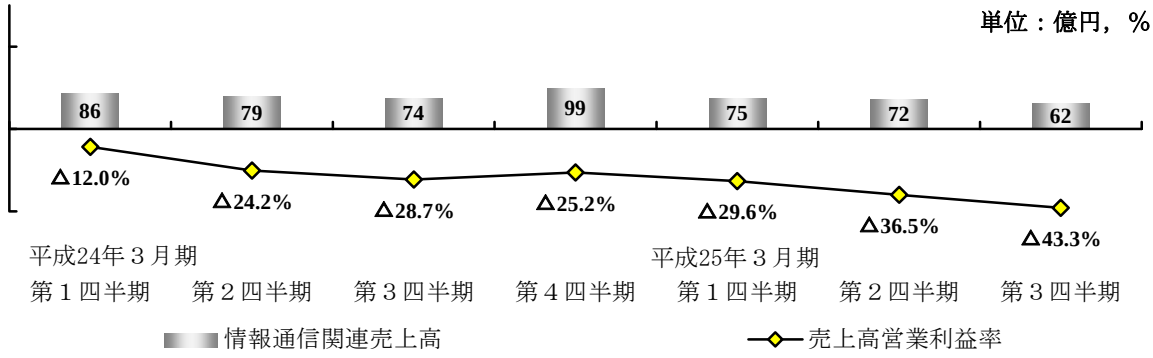
この結果、当第３四半期連結累計期間の連結売上高は 1,567 億 93 百万円（前年同期比 1.8%減）、営業利益は 213 億 17 百万円（前年同期比 13.8%減）となりました。



〈情報通信関連〉

当事業は、主力のパソコンＣＰＵ用ＩＣパッケージが、客先在庫調整により受注、出荷ともに低調が続いており、新規引合を獲得すべく拡販活動に努めています。一方、収益については生産性の向上や原価低減など合理化活動を行い、改善に努めています。

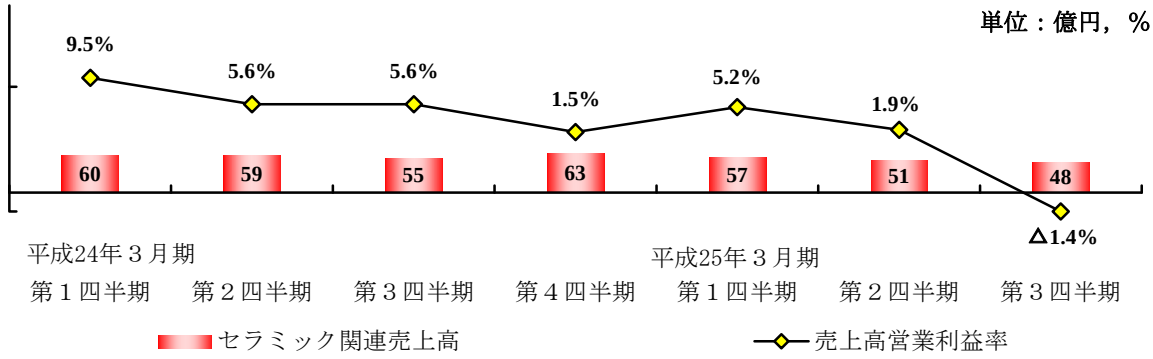
この結果、当第３四半期連結累計期間の連結売上高は 208 億 54 百万円（前年同期比 13.2%減）、営業損失は 75 億 16 百万円（前年同期は 51 億１百万円の営業損失）となりました。



〈セラミック関連〉

当事業は、工作機械向けの製品出荷は、北米では堅調に推移していますが、欧州では低調が続いています。また産業用機器向けの製品出荷は、客先での在庫調整や、半導体市況の低迷により厳しい状況が続いています。

この結果、当第３四半期連結累計期間の連結売上高は 155 億 78 百万円（前年同期比 10.8%減）、営業利益は３億 22 百万円（前年同期比 73.4%減）となりました。



（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

	流動資産	固定資産	総資産	負債	純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
25年３月期第３四半期	193,724	138,032	331,757	88,537	243,219
24年３月期	206,897	133,398	340,295	104,682	235,613

当第３四半期末の総資産は、前連結会計年度末比 85 億 38 百万円減少の 3,317 億 57 百万円となりました。これは、主として有価証券が減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末比 161 億 44 百万円減少の 885 億 37 百万円となりました。これは、主として社債を償還したことによります。

純資産は、主として利益剰余金の増加により、前連結会計年度末比 76 億６百万円増加の 2,432 億 19 百万円となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

（累計期間）	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物四半期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
25年３月期第３四半期	13,927	△3,833	△15,044	47,314
24年３月期第３四半期	13,526	△12,764	△4,641	47,064

営業活動によるキャッシュ・フローにおける収入は、前年同期比４億円増加の 139 億 27 百万円の収入となりました。主として売上債権の増減額が変動したことによります。

投資活動によるキャッシュ・フローにより支出した資金は、前年同期比 89 億 31 百万円減少の 38 億 33 百万円となりました。主として投資有価証券(債券)の売却及び償還による収入が増加したことによります。

財務活動によるキャッシュ・フローにより支出した資金は、前年同期比 104 億３百万円増加の 150 億 44 百万円となりました。主として社債の償還によるものです。

この結果、当第３四半期末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に対して為替相場の変動による換算差額４億 41 百万円を加えた純額で 45 億９百万円減少し、473 億 14 百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成 24 年 10 月 30 日に公表した業績予想数値に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、従来、有形固定資産の減価償却の方法については、建物（建物附属設備を除く）以外は定率法を採用していましたが、第１四半期連結会計期間よりすべての有形固定資産の減価償却の方法について定額法に変更しました。

この変更は、当社グループにおける設備投資額が、自動車関連事業の国内事業拡大に伴い増加傾向にあることを契機に、現在保有する有形固定資産の使用実態を調査した結果、その設備投資効果や利益貢献が安定的に発生している事実を踏まえ、使用期間にわたり費用を均等配分する方法を採用することが、より期間損益の適正化が図れると判断したことによるものです。また、当社グループにおける在外子会社は主として定額法を採用しており、海外拠点における設備投資額も増加傾向にあることから、この機会にグループにおける会計処理方法の統一化を図ることも目的としています。

これにより、従来の方法と比べ減価償却費は1,740百万円減少しています。この結果、当第３四半期連結累計期間の営業利益は1,357百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,531百万円増加しています。なお、セグメント情報に与える影響は当該箇所に記載しています。

（会計上の見積りの変更）

当社及び国内連結子会社は、自動車関連事業及びセラミック関連事業の生産設備（機械及び装置）について、使用年数、修繕サイクル、投資回収期間等を総合的に検討し、第１四半期連結会計期間より生産実態に応じた耐用年数へ見直しました。

これにより、従来の方法と比べ減価償却費は1,214百万円減少しています。この結果、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益はそれぞれ988百万円増加しています。なお、セグメント情報に与える影響は当該箇所に記載しています。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,463	21,756
受取手形及び売掛金	50,727	50,634
有価証券	57,069	45,344
たな卸資産	62,061	63,228
繰延税金資産	8,626	5,611
その他	8,119	7,302
貸倒引当金	△171	△152
流動資産合計	206,897	193,724
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	41,135	39,289
機械装置及び運搬具（純額）	22,516	25,113
土地	15,017	14,941
建設仮勘定	2,721	6,521
その他（純額）	2,091	2,213
有形固定資産合計	83,483	88,079
無形固定資産		
ソフトウエア	4,184	3,652
その他	194	193
無形固定資産合計	4,379	3,846
投資その他の資産		
投資有価証券	42,872	42,979
繰延税金資産	843	1,440
その他	1,921	1,787
貸倒引当金	△101	△99
投資その他の資産合計	45,536	46,107
固定資産合計	133,398	138,032
資産合計	340,295	331,757

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,557	17,412
短期借入金	1,250	1,437
1年内償還予定の社債	10,000	―
リース債務	310	305
未払法人税等	1,238	1,633
繰延税金負債	76	67
その他	21,784	22,245
流動負債合計	58,217	43,101
固定負債		
社債	25,000	25,000
リース債務	838	705
退職給付引当金	17,728	17,619
負ののれん	32	20
繰延税金負債	1,142	456
その他	1,722	1,634
固定負債合計	46,464	45,436
負債合計	104,682	88,537
純資産の部		
株主資本		
資本金	47,869	47,869
資本剰余金	54,824	54,824
利益剰余金	151,440	158,212
自己株式	△7,525	△7,534
株主資本合計	246,609	253,372
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,815	12,506
為替換算調整勘定	△24,366	△24,268
その他の包括利益累計額合計	△12,550	△11,762
少数株主持分	1,555	1,609
純資産合計	235,613	243,219
負債純資産合計	340,295	331,757

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
売上高	204,415	196,065
売上原価	149,853	148,478
売上総利益	54,562	47,586
販売費及び一般管理費	33,736	33,419
営業利益	20,825	14,167
営業外収益		
受取利息	1,097	782
受取配当金	532	593
負ののれん償却額	12	12
持分法による投資利益	184	332
為替差益	―	581
その他	539	802
営業外収益合計	2,366	3,104
営業外費用		
支払利息	467	424
為替差損	2,530	―
休止固定資産減価償却費	674	309
その他	356	420
営業外費用合計	4,028	1,154
経常利益	19,163	16,117
特別利益		
固定資産売却益	76	595
特別利益合計	76	595
特別損失		
固定資産処分損	156	241
投資有価証券評価損	934	69
特別損失合計	1,090	311
税金等調整前四半期純利益	18,148	16,401
法人税、住民税及び事業税	3,411	3,527
法人税等調整額	229	1,131
法人税等合計	3,640	4,658
少数株主損益調整前四半期純利益	14,508	11,742
少数株主利益	217	181
四半期純利益	14,290	11,561

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	14,508	11,742
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,717	691
為替換算調整勘定	△5,144	52
持分法適用会社に対する持分相当額	△231	78
その他の包括利益合計	△8,092	823
四半期包括利益	6,415	12,565
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,380	12,349
少数株主に係る四半期包括利益	34	215

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,148	16,401
減価償却費	11,132	9,155
のれん償却額	14	△12
退職給付引当金の増減額（△は減少）	410	△104
受取利息及び受取配当金	△1,629	△1,375
支払利息	467	424
持分法による投資損益（△は益）	△184	△332
固定資産処分損益（△は益）	80	△353
投資有価証券評価損益（△は益）	934	69
売上債権の増減額（△は増加）	△6,166	625
たな卸資産の増減額（△は増加）	△75	△486
仕入債務の増減額（△は減少）	△4,600	△6,573
その他	△2,944	△2,121
小計	15,587	15,316
利息及び配当金の受取額	1,439	1,599
利息の支払額	△330	△358
法人税等の支払額	△3,169	△2,630
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,526	13,927
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額（△は増加）	△771	△168
有価証券の純増減額（△は増加）	△5,958	△1,688
有形固定資産の取得による支出	△8,999	△11,256
有形固定資産の売却による収入	195	886
無形固定資産の取得による支出	△181	△513
投資有価証券の取得による支出	△2,631	△3,116
投資有価証券の売却及び償還による収入	5,570	12,101
その他	13	△76
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,764	△3,833
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	567	174
社債の償還による支出	―	△10,000
自己株式の取得による支出	△27	△9
自己株式の売却による収入	3	0
配当金の支払額	△4,788	△4,785
その他	△395	△425
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,641	△15,044
現金及び現金同等物に係る換算差額	△945	441
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△4,823	△4,509
現金及び現金同等物の期首残高	51,888	51,824
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,064	47,314

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成 23 年４月１日　至　平成 23 年 12 月 31 日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）1	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）2
	自動車関連	情報通信関連	セラミック関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	159,642	24,031	17,458	201,133	3,282	204,415	－	204,415
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－	－
計	159,642	24,031	17,458	201,133	3,282	204,415	－	204,415
セグメント利益又は損失(△)	24,730	△5,101	1,210	20,840	△15	20,825	－	20,825

(注)１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料売上、福利厚生サービス業及び運送業等を含んでいます。

２ セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成 24 年４月１日　至　平成 24 年 12 月 31 日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）1	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）2
	自動車関連	情報通信関連	セラミック関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	156,793	20,854	15,578	193,225	2,839	196,065	－	196,065
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－	－
計	156,793	20,854	15,578	193,225	2,839	196,065	－	196,065
セグメント利益又は損失(△)	21,317	△7,516	322	14,123	44	14,167	－	14,167

(注)１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料売上、福利厚生サービス業及び運送業等を含んでいます。

２ セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、従来、有形固定資産の減価償却の方法については、建物（建物附属設備を除く）以外は定率法を採用していましたが、第１四半期連結会計期間よりすべての有形固定資産の減価償却の方法について定額法に変更しました。

これにより、従来の方法と比べ、当第３四半期連結累計期間のセグメント利益が自動車関連において 1,247 百万円、セラミック関連において 71 百万円増加し、セグメント損失が情報通信関連において 37 百万円減少しています。

（会計上の見積りの変更）

当社及び国内連結子会社は、自動車関連事業及びセラミック関連事業の生産設備（機械及び装置）について、第１四半期連結会計期間より生産実態に応じた耐用年数へ見直しました。

これにより、従来の方法と比べ、当第３四半期連結累計期間のセグメント利益が自動車関連において 905 百万円、セラミック関連において 83 百万円増加しています。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。